

土木学会 コンクリート委員会
平成18年度 第5回規準関連小委員会 議事録

1. 日 時：平成19年2月27日（火） 14:00～17:00
2. 場 所：土木学会 EF 会議室
3. 出席者：橋本親典（委員長）、岩波光保、上野敦、江口和雄、小川洋二、栗田守朗、
新藤竹文、田中秀樹、椿龍哉、中村雅之（代理：大谷悟司）、原田修輔、
三谷芳弘、森濱和正、横関康祐（記録） * 敬称略
4. 配布資料
 - 5-0 平成18年度第5回規準関連小委員会 議事次第
 - 5-1 平成18年度第4回規準関連小委員会 議事録（案）
 - 5-2 平成18年度第1回規準関連小委員会主査幹事会 議事メモ
 - 5-3 規準編改定について日本規格協会との打ち合わせ内容について
 - 5-4-1 新旧比較 プレキャストコンクリート用樹脂系接着剤品質規格（案）
 - 5-4-2 土木学会論文集委員会報告「プレキャストコンクリート用樹脂系接着剤品質規格」
 - 5-5 2007年制定「規準編」発刊に伴う講習会 会告
 - 5-6-1 四電極法による断面修復材の体積抵抗率測定方法（案）
 - 5-6-2 同一解説
 - 5-6-3 実構造物における断面修復材の体積抵抗率測定方法（案）
 - 5-6-4 RILEM TC 154-EMC Electrochemical Techniques for measuring metallic corrosion

5. 議事

(1) 委員長挨拶，連絡事項

橋本委員長より挨拶があり，以下の連絡事項があった。

- ・ 改訂版が 5/20 日に刊行されることになった。皆様のご協力に感謝したいとの旨の挨拶があった。

(2) 議事録確認

田中委員より前回議事録（案）の報告があり，以下の修正を条件に承認された。

- ・ 4)「非破壊検査協会の試験方法には、・・・」→「非破壊検査協会の超音波に関する試験方法には、・・・」に訂正

(3) 平成18年度第1回規準関連小委員会主査幹事会報告

橋本委員長より配布資料 5-2, 5-3 に基づき報告があり，特に以下の事項について確認した。

- ・ 規準編のワードファイルは文字化けなどがあるので今後はテフ版とする。
- ・ JIS は 2007 年 1 月分までの分を掲載する。
- ・ 付属書は省略のみの場合でも目次に掲載する。ただし，JIS 対応表や追補は掲載しない。
- ・ PC 技術協会，NDIS などの掲載許可について土木学会の出版事業課で対応中である。
- ・ 講習会における示方書の動向に関する講演は時期的に無理である。
- ・ コンクリート用語に関する検討の必要性の有無を当委員会で検討する。

(4) プレキャストコンクリート用樹脂系接着剤品質規格（案）に関する審議

原田主査より 12/1 日の前回委員会指摘事項を踏まえて修正した資料 5-4-1, 5-4-2 について説明された。以下の追加修正が指摘され，修正することになった。

- ・ 番号は，JSCE-H 101-2007 のままでよい。
- ・ 1. 適用範囲，5.2 外観ほか，「主剤と硬化剤からなる～，A 剤と B 剤からなる～」などの表現は，「主剤と硬化剤など 2 種類の材料を混合する接着剤」といった表現に変更する。

- ・ 5.9「トルエンで十分に洗って」は、「トルエンやアセトンなどの溶剤で十分に洗って」とする。
- ・ 6. c)「接着剤の各剤の種類」を「接着剤を構成する各剤の種類」とする。
- ・ 6. f)出荷年月日は削除する。これに伴い、g)h)i)を繰り上げる。
- ・ 表のタイトルが必要である。

修正資料を原田主査から橋本委員長に送付し、3月の常任委員会で審議していただく。

(5)規準編改訂に関する講習会について

橋本委員長より、配布資料 5-5 について説明があり、以下の事項を決定した。

- ・ 当日のスケジュールおよび担当（案）
 - 13:30－13:35 挨拶（橋本委員長）
 - 13:35－14:15 規準編改訂内容の説明（変更がある分の各主査）
 - 14:15－14:45 プレキャストコンクリート用接着剤品質規格（原田主査）
 - 15:00－17:00 講演：国際規格を視野に入れた国内土木関連規準（2名）
- ・ 講演者については、1名は辻先生あるいは辻先生に紹介いただく方と本委員会委員である経済産業省の津金委員の計2名とし、橋本委員長から依頼することになった。

(6)各 WG からの活動報告

1)補修材料 WG

江口委員より、配布資料 5-6-1～5-6-4 について報告があった。

資料 5-6-1 および 5-6-2 の四電極法による体積抵抗率測定方法については以下の審議がなされた。

- ・ エルガード協会、土木研究所の資料を基に作成したもので、電気防食の材料選定などに用いる試験である。審議を数回重ねており、完成版に近いものとなっている。
- ・ タイトルは、断面修復剤となっているが、コンクリートでも使用可能な試験である。
- ・ 測定例を追加する必要があるのではないか。
- ・ 本試験方法の土木学会規準の分類<JSCE-K ○○○-2007>の K は、硬化コンクリートの G でもよいではないか。→どちらに属するかは、各委員の意見により判断したい。
- ・ 3月末までに江口委員に内容ならびに規準分類記号<H or G>に関する意見を送付する。
- ・ 実構造物の分（配布資料 5-6-3, 5-6-4）については 2/28 の WG で検討する。

2)ホームページ WG

特になし、4月以降委員変更がある場合、修正する。

(7)その他

- 1)三谷委員が海外赴任のため、今季限りで委員を退任し、新委員を関係団体から推薦していただくことになった。
- 2)来年度の委員交代を希望する方は、3月末までに橋本委員長にメールする。なお可能であれば、後任を推薦すること。
- 3)タンクリーチング、塩化物イオンの各種拡散係数、補修材料等の新しい土木学会規準の英文化に関しては、もし出版物になった場合は、5月の講習会で紹介ならびに販売をする。
- 4)5月29日委員会付議事項
 - ・ 体積抵抗率測定方法の審議、・平成19年度委員構成、・各種WGの活動状況等
- 5)今年度の予算の赤字分に関しては、3/9日開催のコンクリート常任委員会に橋本委員長が説明し補填してもらったことになった。

(8)来年度委員会開催

日時：平成19年5月29日 11:30～13:30 予定（講習会日程と併せて行う。）

場所：土木学会（予定）

以上